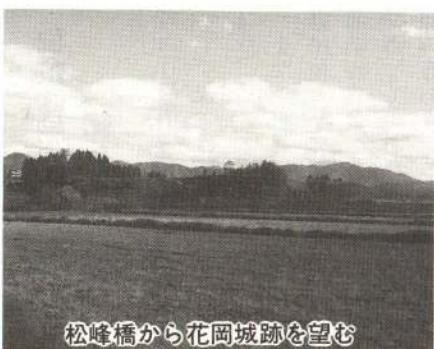


# 大館の歴史散歩

市内の遺跡を  
訪ねて ②

## 花岡地域の遺跡



松峰橋から花岡城跡を望む

花岡地域は大館盆地の北に位置する。この地域を北から南に流れ花岡川に沿って派生している丘陵台地端には、縄文期から平安・中世にかけての集落遺跡が分布していく。八カ所の遺跡が確認されている。

北の方から、花岡川を挟んで東側の土目内集落と繩沢集落の間に繩文時代の繩沢遺跡があり、西側の十瀬野墓地公園入口付近には平安・中世期の長森遺跡がある。長森遺跡南端の川向かいには標高百二十㍍ほどの小丘台地があり、その西側ふもとに豆岱遺跡がある。豆岱遺跡南側の小丘には、本郷集落の草創者と

天正年代(一五七三)一五九二)に花岡城主浅利定友氏が、秋田氏との戦で戦死した父定頼公の菩提を弔うため再興したといわれる信正寺がある。その境内には、繩文晚期の土器、石器、須恵器、中世の陶器などが出土している。七ツ館遺跡がある。信正寺から田代町越山へと連絡する峠道「花岡越え(県道越山花岡線)」沿い二井山集落西側の台地には、繩文後期の土器が出土している。大吉沢遺跡がある。

花岡川が大森川に合流する地

言い伝えられている白滝但馬の氏神「根井神社」が鎮座している。根井神社の北東側台地には根井下遺跡があり、縄文前期の円筒下層式土器片が出土している。また、近くには「しづ様」といわれる祠と「泉」があり、享和三年(一八〇三)に菅江真澄翁がここに立ち寄り、「山陰のささやかの堂のほとりに泉あり」と贊美辭賀樂美に記している。

根井下遺跡の東南には、縄文前

期から中世にかけての土師器や須恵器、陶器などが出土している。十三森遺跡の下流西側には、天正年代(一五七三)一五九二)に花岡城主浅利定友氏が、秋田氏との戦で戦死した父定頼公の菩提を弔うため再興したといわれる信正寺がある。その境内には、繩文晚期の土器、石器、須恵器、中世の陶器などが出土している。七ツ館遺跡がある。信正寺から田代町越山へと連絡する峠道「花岡越え(県道越山花岡線)」沿い二井山集落西側の台地には、繩文後期の土器が出土している。大吉沢遺跡がある。

花岡地域は大館盆地の北に位置する。この地域を北から南に流れ花岡川に沿って派生している丘陵台地端には、縄文期から平安・中世にかけての集落遺跡が分布していく。八カ所の遺跡が確認されている。

北の方から、花岡川を挟んで

東側の土目内集落と繩沢集落の間に繩文時代の繩沢遺跡があり、西側の十瀬野墓地公園入口付近には平安・中世期の長森遺

跡がある。長森遺跡南端の川向

かいには標高百二十㍍ほどの小

丘台地があり、その西側ふもとに豆岱遺跡がある。豆岱遺跡南側の小丘には、本郷集落の草創者と

天正年代(一五七三)一五九二)に花岡城主浅利定友氏が、秋田氏との戦で戦死した父定頼公の菩提を弔うため再興したといわれる信正寺がある。その境内には、繩文晚期の土器、石器、須恵器、中世の陶器などが出土している。七ツ館遺跡がある。信正寺から田代町越山へと連絡する峠道「花岡越え(県道越山花岡線)」沿い二井山集落西側の台地には、繩文後期の土器が出土している。大吉沢遺跡がある。

花岡川が大森川に合流する地

点下流西側、南北九十㍍、東西百五十㍍の台地上には、花岡城跡がある。この城は、十六世紀初頭(一五〇四)に甲斐国から比内地方に移住した浅利則頼氏が、永正十七年(一五二〇)に築城したといわれている。今は大館工業高校敷地となっていて、台地縁辺部からは平安・中世の遺物が出土している。

あわただしく歴史の舞台に登

場しては消えていく人びとの定

めははかないが、その当時営ま

れたさまざまな足跡は謎をはら

んで地下に息づいている。耳を

ますと、遺跡からは時代の転

換のしきしみが聞こえてくるよう

な気がする。

## 市役所史跡探訪会

### クイズ

### 広報おおだてがヒント

▽問題題  
①成章小学校新校舎の完成は四年三月の予定ですが、学校敷地面積はどれぐらいの広さですか?  
②今年は例年に比べツガムシ病が多く発生しています。そのツツガムシ病の病原体はなんですか?

▽応募先  
〒017 大館市字中城20番地  
市企画調整課広報統計係  
※全問正解者の内から、抽選で5人に記念品をお贈りします。

▽締め切り  
6月24日(月) 当日消印有効  
してご応募ください。余白はあるのスペース。ご近所での話題などなにを書いても結構です。

③小柄沢墓園の一画にあるショウブ園には、何品種のショウブが植えられていますか?  
④応募方法  
ハガキに住所・氏名・性別・年齢・答え(例①②)――を明記

▽5月16日号の答え  
①70万時間 ②サワーズ ③桂城公園

④大館野遺跡  
加賀谷正博さん(十二所字田町)・佐藤光子さん(花岡町字大森下)・小池慶子さん(住吉町)・目時健一さん(雪沢字上谷地)・近藤三重子さん(美園町)

\*広報おおだては再生紙(古紙50%)を使用しています。



## 私の本棚

中央図書館新着図書

### 『父の贈りもの』

中井貴恵著 文化出版局

往年の大スター佐田啓二を父にもち、いつしか父と同じ映画の道に足を踏み入れていく著者。幼いころに父を亡くし、映画のスクリーンを通じて父への想いをはせる。娘・妻・周囲を取り巻く人たちの目を通して、素顔の佐田啓二を綴る。

**一般書** ◇エデンを遠く離れて(池澤夏樹) ◇スペイン紀行(アンダ知宏) ◇グラジオラスの耳(井上荒野) ◇百雷(立松和平) ◇また酒中日記(吉行淳之介編) ◇夕顔の宿(瀧澤美恵子) ◇七つの偶然(山崎光夫) ◇誕生日のラムケーキ(庄野潤三) ◇私は肝移植で救われた(カルトバッサー俊子) ◇イギリスの証券市場(W・A・トーマス) ◇消えたオーケストラ(宇神幸男)ほか

**児童書** ◇わたしの国会フレッシュ日記(肥田美代子) ◇私は学校にいかれなかった(内海桂子) ◇わたしの仕事[全10巻](今井美沙子)

6月のテーマ関連図書コーナー『クルマ』

親子読み聞かせ会

毎月第1金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日 6月16日、27日